講義名	英語で学ぶグローバルコミュニケーション(総合)			授業形態	
担当教員	中川　典子	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 ４時限		
		単位数	2	履修開始年次	２年生	ナンバリング・コード	ENG226

主題と概要

今日の社会では、外国語を手段として使い、グローバルな視点で物事を考えることが益々、重要視されている。本コースはこのような現状に対応するため、異文化を理解し、文化的多様性に対して寛容な態度をもち、世界に通用する基本的な英語力をもったグローバル人材を育成することを目的とする。授業では教科書を使った演習や課題、クイズの実施により、英語によるコミュニケーション能力の育成を目指す。

到達目標

本コースでは以下の能力を養うことを目標とする。

（1）課題解決型のスキットを通して、英語力だけでなく、グローバル人材に求められるコミュニケーションスキルや課題解決力を身につけることができる。
（2）英語母語話者だけでなく、ノンネイティブ（英語母語話者以外）の人々の生の英語による教材を使用することで、実際のグロ ーバルな英語環境に親しむことができる。
（3）ペアワークにより、日常の様々な場面における実践的な英語力を習得できる。
（4）リスニングクイズの実施により、基本的なリスニング力を伸ばすことができる。
(5) テキストの復習クイズの実施により、学習した重要表現の定着をはかることができる。

提出課題

基本文法やイディオムに関する演習問題、テキストの内容に沿った会話文の作成、その他、授業で配布するテキストの内容に準拠して担当者が作成したワークシート等、さまざまな課題に取り組む。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回、小テスト（リスニングクイズやテキストの各ユニットの復習クイズ）を実施し、解説する。受講生が提出したワークシートの英語表現を添削指導し助言する。

評価の基準

（1）小テスト（20%）
（2）課題（40 %）
（3）定期試験（30%）
（4）授業態度（10%）

*上記の成績評価基準のすべての項目を総合して行うが、一つでも取り組まなかった項目がある場合は不合格となる。

履修にあたっての注意・助言他

(1)受講にあたっては、高校レベルの基本的な英語力を有すること。
(2)前掲のように、コースの評価は上記の成績評価基準のすべての項目を総合して行うが、一つでも取り組まなかった項目がある場合は不合格となる。
(3)15分以上の遅刻は欠席となる。コースの3分の１にあたる５回以上授業を欠席すると定期試験の受験資格を失い、単位を取得できなくなる。3回の遅刻で欠席1回となる。
(4)教科書は当然、購入しているという前提で授業を実施する。教科書がないことにより生じる不都合は自己責任となる。
(5)課題はMS Word形式で提出すること。スマホからの写真やテキストでの提出物は受理できない。
(6)授業開始直後の約10分間を使ってクイズを実施するので遅刻しないこと。欠席した場合のクイズの追試は実施しない。
(7)解答が書かれた他人からもらっても教科書は使用不可。必ず新しいものを購入すること。
(8)授業中の態度が著しく悪い、教科書を持って来ないなどの行為が見られた場合は、大幅な減点となり、落第する可能性があるため留意すること。
(9)提出課題を含むすべての連絡事項はRyuka Portalのキャンパスクロスを通じて行うので、必ず確認すること。

*その他、授業に関する詳細については第1回目の講義で説明するので、必ず出席すること。

教科書

.Must-Have English Skills for Global Communication.	Shinichi Shibata,Rie Jindo, Lindsay Wells	Kinseido	2,200	9784764740594

参考図書

その他

使用するワークシート等は適宜、授業中に配布する。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）	○	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）		ウ：ディスカッション、ディベート
	エ：グループワーク	○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				

備考	積極的な授業活動への参加と課題の提出は必須である。教科書を購入しなければ課題を提出することはできないので履修登録後、すみやかに購入手続きをすること。前掲のように、テキストを購入しないことによるすべての不都合は自己責任であることを留意すること。授業に関する連絡事項はすべてキャンパスクロスを通じて行う。

授業計画

第1回　ガイダンスとペアワーク、他己紹介
（予習内容）テキストUnit 1のwarming upエクササイズ、会話文のリスニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握（180分）
（復習内容）シラバスを読み、授業の概要を理解しておくこと（60分）

第2回　U1 May I help you? （困っている人に話しかける）
（予習内容）テキストUnit 2のwarming upエクササイズ、会話文のリスニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握（120分）（復習内容）授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き取り（120分）
第3回　U2 What do you do on the weekend?　（初対面の人と会話を続ける）
（予習内容）テキストUnit 3のwarming upエクササイズ、会話文のリスニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握（120分）（復習内容）授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き取り（120分）
第4回　U3 That sounds interesting!　（ポジティブ・ネガティブな意見を述べる）
（予習内容）テキストUnit 4のwarming upエクササイズ、会話文のリスニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握（120分）（復習内容）授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き取り（120分）
第5回　U4 I'm not feeling well.　（体調を伝える）
（予習内容）テキストUnit 5のwarming upエクササイズ、会話文のリスニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握（120分）（復習内容）授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き取り（120分）
第6回　U5 You shouldn't step there （注意する）
（予習内容）テキストUnit 6のwarming upエクササイズ、会話文のリスニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握（120分）（復習内容）授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き取り（120分）
第7回 U6　Why don't we buy potatoes, too?　（提案する）
（予習内容）テキストUnit 7のwarming upエクササイズ、会話文のリスニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握（120分）（復習内容）授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き取り（120分）
第8回　U7 Would 5pm be convenient for you?　（スケジュールを調整する）
（予習内容）テキストUnit 8のwarming upエクササイズ、会話文のリスニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握（120分）（復習内容）授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き取り（120分）
第9回　U8 I'll have to pass.　（依頼を断る）
（予習内容）テキストUnit 9のwarming upエクササイズ、会話文のリスニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握（120分）（復習内容）授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き取り（120分）
第10回 U9 I have an idea.　（解決策を提案する・協働作業をする）
（予習内容）テキストUnit 10のwarming upエクササイズ、会話文のリスニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握（120分）（復習内容）授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き取り（120分）
第11回　U10　Could you do me a favor?　（お願いする）
（予習内容）テキストUnit 11のwarming upエクササイズ、会話文のリスニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握（120分）（復習内容）授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き取り（120分）
第12回 U11 I think you could explain this more.　（アドバイスする）
（予習内容）テキストUnit 12のwarming upエクササイズ、会話文のリスニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握（120分）（復習内容）授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き取り（120分）
第13回 U12 I don't get what you mean.　（発言を聞き返す）
（予習内容）テキストUnit 13のwarming upエクササイズ、会話文のリスニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握（120分）（復習内容）授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き取り（120分）
第14回　U13　I'm so sorry to hear that.　（相手を励ます）
（予習内容）テキストUnit 14のwarming upエクササイズ、会話文のリスニング演習と空所補充問題解答、会話文内容把握（120分）（復習内容）授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き取り（120分）
第15回 U14 That's not what I meant.　（誤解を解く・真意を伝える）
（復習内容）授業で学習した文法事項、単語、英語表現の復習および会話文の書き取り、定期試験の準備（240分）

＊授業内容は毎回の進捗状況により、調整する場合がある。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本コースでは英語学習を通じて、円滑な異文化間コミュニケーションに必要な知識とスキルを習得する。これは「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」を育成するという本学の全学共通科目のディプロマポリシーに沿うものである。また、読解練習を通して海外の社会や文化について学び、基本的な読解と内容理解・情報収集に習熟することにより、卒業時に身につけておくべき資質・能力の育成につなげる。これらの能力は商学部生に求められる各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業に関する質問は随時受付け、授業中あるいはキャンパスクロスを通じて回答する。受講生からの提出物を添削し、フィードバックを行う。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし。